

主催：中吉川IAP



身近な土と藁を使い手造りの暖かさが感じられるロケットストーブ



## 西蒲の自然エネルギーを取り入れた、ロケットストーブのある空間

中吉川IAPは新潟市西蒲区を活動拠点として地域の魅力を紹介する活動を行い、今回の展示では西蒲区の自然を『素材』として取り入れたロケットストーブ製作企画を行った。

人々は昔から自然と寄り添い、知恵をつなぎ生活を営むことで身近にある自然エネルギーをうまく取り入れ豊かな日常生活を送っていた。今ではその恩恵や効果を直接的に実感する機会は少なくなり、日の明るさや土の湿度、地面に染み渡る雨水といった要素は、私たちの生活の中にどんな形で寄り添っているのだろう？西蒲区の自然を『見える化』し、子どもたちと一緒に『自然素材を使ってどんなエネルギーができるか？』を考えたワークショップと、今回のメイン展示として途上国の農村で問題視されていた薪ストーブの煙や粉塵問題を解決するために考案され、緊急時の暖房・調理器具としても注目されている簡易型ストーブの『ロ

ケットストーブ』を製作。講師にはRIKI TRIBAL小池雅久氏を迎え、ロケットストーブの土台、外壁となる泥土や稻藁といった材料採取を西蒲区の平地・丘陵・河川敷ごとに行い、土壤の違いなどのリサーチも行った。ワークショップには、親子連れやエコに対して興味を持っている方が参加し、関心の高さが伝わる良い機会となった。持ち運び可能なミニロケットストーブ製作ワークショップは、子どもたち自身で工具を使い製作。火の正しい取り扱い方を学び、実際に火起こしまでを行い「巻で揃えた自然の材料がこんなふうに使われるなんてすごいと思った」と自然エネルギーとロケットストーブを身近に感じてもらうことができた。今後はロケットストーブがある空間をまちなかコミュニティスペースのひとつとして、地域の方々が集まりそこで暖をとり、休憩もできるフリースペースとして活用し、地域の活性化に役立てていきたい。

- 8月26日(日) ミニロケットストーブを作ろう！（コーポ中吉川）
- 9月22日(土) ロケットストーブお披露目会（コーポ中吉川）